

第六十五回
帝國議會
貴族院

原蠶種管理法案特別委員會議事速記録第三號

昭和九年三月十二日(月曜日)午前十時
九分開會

○委員長(侯爵大隈信常君) ソレデハ是カ

ラ原蠶種管理法案ノ特別委員會ヲ開キマ
ス、大臣モモウ暫クスルトオ出ニナルヤウ
デアリマスガ、ソレ迄事務當局ニ御質問ガ
アリマスナラドウゾ願ヒマス

○男爵岩村一木君 私ハ海外デ最近ニ絲條

班ノ苦情ガ多ク出テ居ル、此點ニ付キマシ
テハ衆議院ニ於テモ色ニ御話ガアリマシタ
ヤウデアリマスガ、當局デ御調査中ト云フ
コトデアリマスガ、之ニ對スル御意見ヲ伺ッ
テ置キタイト思ヒマス、ソレカラモウ一ツ
ハ政府ノ持ッテ居ラレル生絲ノ量ガ相當オ
アリノヤウデアリマスガ、是ハ新規用途、
或ハ新販路以外ニハ賣レナイト云フコトデ
アリマスルケレドモ、現在ドノ位オアリデ
ゴザイマセウカ、御差支ガナケレバ御示シ
ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラモウ一ツ
ハ本法ガ可決イタサレマシテ、豫算モ通過
イタシマシタ曉ニ、勿論實施期ハ勅令トナッ
テ居リマスルガ、豫算モ昭和九年度ト云フ
コトデ豫算ヲ取ッテオ出デゴザイマスカラ、
九年度中ニハ實施ノコトト思ヒマスガ、大

體實施ヲ開始ナサル日限ヲ御示シヲ願ヒタ
イ、以上三點ヲ伺ヒタイ

○政府委員(井野碩哉君) 生絲ノ亞米利加

ニ於キマスル絲條班ニ對スル苦情ト申シマ
スルコトハ、是ハ衆議院ニ於キマシテモ、
色ニ其問題ニ觸レテ御質問ガアッタノデゴ
ザイマスガ、一口ニ絲條班ト申シマスガ、
實ハ品位検査ニ關スル苦情ナノデゴザイマ
シテ、其中ノ主ナルモノガ絲條班デゴザイ
マスノデ、絲條班ニ關スル苦情ト斯ウ言ッテ
居ルノデアリマスガ、絲條班ト申シマスノ
ハ生絲ノ一口ニ申シマスレバ班デゴザイマ
シテ、絹靴下ニ致シマスツカ、或ハ廣巾物
ニ織リマス場合ニ於キマシテモ、纖維ノ揃ッ
タモノデアリマスレバ非常ニ奇麗ニ仕上ガ
出來マスガ、纖維ガ班デゴザイマスツ、ソ
コニ絲條班ト申シマス一ツノ班ガ出來ルト
云フコトガ即チ其絲ノ品位ヲ下ゲル所以ニ
ナルノデゴザイマシテ、是ハモウ少シ詳シ
ク申上ゲマスツ、生絲ノ検査ニ正量検査ト
品位検査ト二種類ゴザイマス、正量検査ト
申シマスノハ、生絲ノ重サガドノ位アルカ
ト云フコトヲ検査イタシマス方法デゴザイ
マシテ、品位検査ト申シマスノハ、輸出生

絲検査法ノ施行規則ニモ書イテゴザイマス

ヤウニ、品位検査ハ更ニ又肉眼検査ト機械

検査ニ分レマス、サウシテ肉眼検査ハ荷揃

検査ト、整理検査ト性状検査ト此三ツノ檢

査ヲ致スノデアリマス、即チ肉眼デ以テ、

此生絲ハ皆ヨク揃ッテ居ルカドウカ、又一束

ヲ一縷ト申シマスガ、縷ガヨク出來テ居ル

カドウカト云フヤウナコト、或ハ色ノ工合

トカ、又生絲ノ味ト申シマスガ、其味ガド

ウガラウカト云フコトヲ一應眼デ見マシテ

點ヲ付ケマス、ソレト同時ニ今度ハ機械檢

査ニナリマシテ、機械検査デハ再繰検査、

平均織度検査、織度偏差検査、絲條班検査、

類節検査、強力及伸度検査、抱合検査、此

七ツノ検査ヲ致スノデアリマス、其中ノ絲

條班検査ト申スノハ一ツノ検査デゴザイマ

シテ、即チ生絲ガドノ位強イ生絲デアル

カ、或ハ節ガドノ位アルカ、或ハ織度即チ

「デニール」是ハ十四中ト申シマスガ、ソレ

ガドノ位アルカト云フヤウナコト、又抱合

ト申シマシテ、生絲ガ縷ニナッテ、縷レテ居

ル工合ガドウ云フ風ニ出來テ居ルカト云フ

ヤウナ、サウ云フ細カイ検査ヲ皆機械デ致

スノデアリマス、其検査ノ成績ハ是ハ各品

位毎ニ點ヲ附ケルノデゴザイマシテ、八十

五點デゴザイマスツカ、九十點デゴザイマ

ストカ、各、點ヲ附ケマシテ、サウシテ其全

體ヲ綜合イタシマシタ點ガ即チ一ツノ格付

ト云フ點ニナルノデアリマス、此生絲ハ八

十五點以上ノ生絲デアル、或ハ九十點以上ノ

生絲デアルト云フコトニ依リマシテソコニ格

ガ出來マシテ、「エー」格「ビー」格「シー」格ト

云フヤウナ格ガ出來ルノデゴザイマスガ、本

來此検査ニ關スル苦情ト申シマスノハ、點ヲ

附ケタ其點ダケノモノガ出ナイト云フコトガ

苦情ナノデゴザイマス、例ハバ織度偏差檢

査ニ於テ苦情ガアルトカ、絲條班検査ニ於

テ苦情ガアルト云フノハ絲條班ガ例ハバ九

十點ト出テ居ルノニ、使ッテ見ルト九十點ダ

ケノ價值ガナイ、斯ウ云フ苦情デアリマス、

類節検査モ類節ノ方デ八十五點ナラ八十五

點ト云フ點ガ附イテ居ルニ拘ラズ、ソレダ

ケノ成績ガ出ナイ、デアアルカラ渡シタモノ

ガ検査票ニ書イテアル點ト使フモノトガ違

フデヤナイカト云フノガ苦情デゴザイマス

ガ、唯亞米利加ニ於キマスル此日本ノ生絲

ノ取引狀況ヲ見テ居リマスルト、生絲検査

所ノ検査票ヲ其儘輸出商ハ使ハナイ、今日

之ヲ使ツテ與レマスレバ検査票ノ成績ガ極メテ機械的ニ出ルノデゴザイマスガ、ソレヲ使ハナイ、詰リ向フノ取扱人ト申シマスカ、輸入商ガ向フデ以テ自分勝手ナ検査ヲスルモノデスカラ、ソレデ苦情ヲ付ケテハ絲ガ惡イトカ何トカ言フテ、絲ヲ返スコトニナルノデゴザイマスカラ、從テ生絲検査所ノ検査票ヲ使ハナイデ、皆自分ノ店ノ「マーク」ヲ入レタリ致シマシテ、違フモノニシテ渡シマスモノデスカラ、ソコニ色ミノ苦情ガ出テ來ルト云フヤウナ譯デ、今日ノ絲條斑ノ苦情ト申シマスコトハ、品位検査ニ關スル苦情デゴザイマスガ、是ガ我々ノ理想通り、國內ノ検査ガ海外ニ普及サヘ致シマスレバ、サウ云フ苦情ハ段々ト無クナツテ來ル、何故カト申シマスレバ横濱デ定メマシタ所ノ検査標準ナルモノハ、亞米利加ト日本ト兩國ガ協議會ヲ開キマシテ、兩國デ定メタ標準ナンデゴザイマスカラ、從テ此通り行ハレテ行キマスレバ苦情ガナイノデアリマスガ、ソコニ色ミノ障礙ナリ、色ミノ手段ガゴザイマシテ、其通り行カナイ爲ニ斯ウ云フ苦情ガアルト云フノガ現状デアリマス、デアルカラソレニ對スル苦情ガアルカラト申シマシテ、ソレヲドウスレバ宜イカト言ヘバ、出來ルダケ國內ノ格付

ヲ海外ニ普及シテ行クト云フコトガ出來レバ非常ニ結構デゴザイマシテ、今日ノ蠶ノ取引狀況デ行ケバ何時マデ經ツテモ御互ノ間ノ苦情ト云フモノハ相當ニアリ得ルモノト考ヘテ居リマス、ソレカラ第二點ノ政府所有ノ生絲ニ付キマシテ、ドノ位生絲ヲ持ッテ居ルカト云フ御尋デゴザイマスガ、買入レマシタ時ハ九萬八千三百十俵デゴザイマシタガ、今日デハ九萬七千九十二俵、約千三百俵位處分イタシマシタ、第三點ハ施行ノ期日デゴザイマスガ、施行期日ハ、是ハ各條文毎ニ施行期日ガ違ヒマスノデ、附則ニモゴザイマスル通り勅令ヲ以テ別段ノ定メヲスルト云フコトニナツテ居リマシテ、或ハ是ハ各條文毎ニ施行期日ヲ書イタモノヲ御手許ニ差上ゲテアリマス、ソレデ御覽ヲ願ヒタイト思ヒマス、統制検査ニ付キマスモノハ大體十三年、或ハ十四年カラ施行イタシマスガ、サウデナイ條文ハ昭和九年カラ、昭和九年ノ分ハ出來ルダケ早く施行シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○男爵足立豐君 大臣ノ御出席ノ前ニ事務的ノコトデアリマスカラ、局長ニ御質問申シテ置キタイト思ヒマス、ソレハ現今ノ養蠶戸數ガ二十六萬五千餘戸ト承知シテ居リマスガ、其中デ養蠶ヲ事業トスルモノ及ビ副業トスルモノノ割合ガドウ云フコトニナツテ居リマセウカ、其數ト、其比例ニ付キマシテハマダ承知イタシテ居リマセヌガ、全農家ノ三割六分強ト云フモノガ養蠶戸數ニナツテ居リマセウニ考ヘテ居リマス、其事業及副業ト致シテ居リマス數ガ御分リデアリマスレバ、御示シヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(井野碩哉君) 全戸數ハ分ッテ居リマスガ、養蠶專門ト、ソレカラ養蠶副業ト云フ區別ニ依リマシテノ統計ハマダ取ツテゴザイマセヌ、ト申シマスノハドレガ副業デアルカ、專業デアルカト云フコトヲ見マスノニ非常ニムツカシイモノデゴザイマスカラ、從テ大體縣ノ事情カラ見テ、此縣ハ專業ノモノガ多イ、副業ノモノガ多イト云フコトノ見當ハ大體分リマスデゴザイマスガ、全國ニ互リマシテノ詳細ナル戸數調ハ、業者ニ依ッテノ區別ハ出來テ居リマセヌノデス

○男爵足立豐君 私ガ只今其數ヲ伺ヒマシ

タコトハ、將來此養蠶業ノ獎勵ニ對シマシテ考ヘベキ點ガアラウカト、斯ウ存ジマシタノデ、御質問申上ゲタノデゴザイマスガ、其數字ガマダ分ッテ居ラヌト云フコトデアリマスレバ、當局ハ將來ニ向ッテ矢張り農家ノ副業トシテ御獎勵ニナリマスカ、或ハ專業トシテ御獎勵ニナル御考デアルカ、農家ノ副業トシテ御獎勵ニナルベキコトハ存ジマスガ、左様ナコトニナリマスレバマダ飼育指導其外種々ノ點ニ關シマシテ、色ミノ施設ヲ要スルコト考ヘテ居リマス、例ヘバ此養蠶業ノ共同施設ニ於キマシテモ、產繭ノ販賣及乾繭等ノ處理、或ハソレニ對シマスル金融等、色ミ今日デモ其御施設ガアリマスヤウデアリマスガ、マダ此點ガ十分ニ行渡ッテ居ラヌヤウニ私ハ存ズルノデアリマス、過日武井委員カラノ御質問中ニモアリマシタヤウニ、最モ製絲家ノ重要ナ點ハ其乾繭ノ度合如何ニアル、單ニ養蠶家ガ生繭ノ賣急ギヲスル爲ニ價格ノ下落ヲ來タスト云フヤウナ點カラ、一方乾繭貯藏ノ御獎勵ガアルヤウニ存ジマスルガ、其乾繭ニ付キマシテハ製絲家ヨリ相當ノ注意ヲ要スル點ヲ聞イテ居リマスノデアリマスガ、若シ其乾繭方法ニシテ誤ルヤウナコトガゴザイマスレバ、品種ノ改良其外

ニ御盡力ニナリマシテモ、生絲ノ値ニハ相
當影響ノ大ナルモノガアラウカト存ジマ
ス、又一方蠶蠶ヲ專業トシテ御獎勵ニナル
ト云フコトデアリマスレバ、是等ノ點ニ付
キマシテモ、相當設備等ハ考慮サレコト
ト考ヘルノデアリマス、其兩點ニ付キマシ
テ何レニ御進ミニナルカ、其點ヲ一應伺ッテ
置キタイト考ヘマス

○政府委員(井野碩哉君) 我國ノ蠶蠶業ヲ

今後專業ニ向ッテ指導シテ行クベキカ、或ハ
副業トシテ指導シテ行クベキカト云フコト
ハ、是ハナカノムツカシイ問題デアリマ
シテ、或ハ大臣カラ御答スルノガ適當カト
思ヒマスガ、唯我ミガ今日ノ蠶絲業ノ趨勢
カラ見マシテ、一應斯ク導イテ行クコトガ
實際ニ適合スルモノデアルト云フ、今迄ノ
見方ヲ簡單ニ申上ゲテ見タイト思ヒマス
ガ、我國ノ蠶絲業ハ從來ハ亞米利加ノ生絲
ニ對シマスル需要ガ年々非常ニ増加シテ參
リマシタノデ、只管此増産ノ一途ニ進ンデ
參ッタノデゴザイマスカラ、從テ養蠶家トシ
マシテハ出來ルダケ繭ノ數量ノ増加ヲ圖
ル、從テ從來副業デアリマシタモノモ段々
是ガ專業トナッテ來ルト云フ事情ニアッタノ
デゴザイマスガ、今日人造絹絲ノ發達
ト、亞米利加ノ種々ナル經濟事情ノ變遷等

ニ依リマシテ、今後ノ我國ノ蠶絲業ト云フ
モノハ、今迄ノヤウニ徒ニ増産ニノミ趨ル
ベキモノデナク、寧ロ生産費ヲ出來ルダケ
低下イタシマシテ、生産部門、販賣部門ニ
於キマシテ、十分ノ統制ヲ圖ッテ行ク、更ニ
出來上リマシタモノハ、今迄ノ品製以外ノ
新規ノ需要ニ向ッテ之ヲ開拓シテ行クト云
フコトガ、最モ必要デアラウト考ヘテ居リ
マスノデ、此度御協賛ヲ願ヒマス原蠶種管理
ノ如キモノモ、マア其生産費ヲ下ゲマス一
ツノ手段デゴザイマス、又桑園整理改植
ノ如キモ反當リノ數量ヲ殖ヤスコトニ
依リマシテ、生産費ヲ下ゲルト云フ方策デ
ゴザイマツガ、併シ是ガ一面生産費ヲ下ゲ
マス代リニ、同じ能力デ以テ倍或ハソレ以
上ノ生産額ヲ上ゲルノデゴザイマスカラ、
此原蠶種デモ桑園整理改植デモ當ニ現在ヲ
良クシテ殖ヤシテ行クト云フコトデハ、却
テ増産ニナッテシマヒマシテ、非常ニソコニ
我ミノ考ヘテ居リマスル政策ト矛盾ガ起ッ
テ來ル譯デアリマス、ソコデ我ミノ考ヘナ
ケレバナリマセヌ點ハ、今後ノ養蠶經營ト
云フモノハ、出來ルダケ多角經營ニ移シテ行
カナケレバナラス、一面ニ於テ努力ヲ節約
イタシマシテ生産費ヲ下ゲマスト共ニ、其
餘リマシタ努力ナリ、或ハ桑園ナリノ耕地

ヲ他ノ農作物ニ轉換セシメル、ソコニ或ハ
有畜農業ニ結付ケマスツカ、小麦栽培ニ結
ビ付ケマスツカ、或ハ我國ノ農村カラ見マ
シテ、海外カラ輸入サレマス物ノ防遏ヲシ
ナケレバナラス農産物ノ種類モ多々アルノ
デゴザイマスカラ、ソレ等ノモノニ向ッテ
此養蠶家經營ヲ今後ハ出來ルダケ多角的ニ
シテ、一朝繭價ガ下落シテモソレノミニ依ッ
テ農家ガ危機ニ瀕シナイト云フヤウナ方策
ニ結付ケテ行カナケレバ、今後ハ徒ニ養蠶
バカリヲ專業トシテ、假ニ亞米利加ノ消費
狀態ニ依ッテ極端ナ變化ガ來タ場合ニ、農家
自ラガ倒レルト云フヤウナコトガアッテハ、
是ハ非常ナ重大ナ問題デアルカラシテ、ソ
レ等ノコトノナイヤウニ、我ミハ出來ル
ダケ之ヲ指導シテ行キタイ、從テ今御尋
ネノ專業ノミニ我ミノ方ハ邁進シテ行キ
タクナイト云フ氣持ヲ有ッテ居ルノデゴ
ザイマス、デゴザイマスカラ單ニマア副業
ノミニ指導シテ參リマシテモ、其縣デ外
ノモノガ出來マセヌケレバドウモ致方ガナ
イト思ヒマス、事情許セバサウ云フ風ニ指
導シテ行キタイ、サウ云フ風ニ考ヘテ居ル
次第デアリマス

考ヲ持ッテ居ルト云フ御説明デ、大體私ノ考
ヘテ居リマス農家ノ副業トシテ進ム方ガ宜
カラウト云フ、私ノ考ト御意見ガ大體一致
スルモノト考ヘテ居リマスガ、然ラバ只今
申上ゲマシタヤウニ此農家ノ副業トシマシ
タ場合、産繭ニ對シマスル處理等ハ、矢張
リ養蠶組合、或ハ養蠶實行組合等ノ機關ニ
於キマシテ、販賣及乾繭ノ處理等ニ付テ施
設ヲシテ行ク、斯ウ云フコトニナリマセウ
ガ、ソレカラモウ一方此繭ハ私ガ申ス迄モ
ナク、生絲ノ原料トシテ生産サルベキモノ
デアリマシテ、生産者タル農家ヲ主體ニ致
シマスガ、製絲家ヲ主體ニスルノデアルカ、
其點アタリモ餘程考究ヲ要スル點ト考ヘマ
ス、原料生産タル農家ヲ主體トシタ場合ニ
ハ、矢張り増産其他ノ結果ヲ生ジハシナイ
カ、或ハ只今申上ゲタヤウニ、乾繭等ノ場
合、其方ガ處理ヲ誤ル點ガアルノデヤナイ
カト云フヤウナコトヲ心配サレルノデアリ
マスガ、只今現ニ行ハレテ居リマス製絲家
ニ依ル特約組合ノ飼育狀況ト云フコトハ、
ドウ云フ成績ニナッテ居リマセウカ、此製絲
家ヨリ特約シテ飼育サセルト云フ點ハ、製絲
家ノ製絲原料トシテ最モ適切ナル品種ヲ現在
選ンデ飼育サセマスノデアリマスカラ、其生
産サレタ繭ハ直ニ製絲家ノ手ニ依ッテ適當

ヲ他ノ農作物ニ轉換セシメル、ソコニ或ハ
有畜農業ニ結付ケマスツカ、小麦栽培ニ結
ビ付ケマスツカ、或ハ我國ノ農村カラ見マ
シテ、海外カラ輸入サレマス物ノ防遏ヲシ
ナケレバナラス農産物ノ種類モ多々アルノ
デゴザイマスカラ、ソレ等ノモノニ向ッテ
此養蠶家經營ヲ今後ハ出來ルダケ多角的ニ
シテ、一朝繭價ガ下落シテモソレノミニ依ッ
テ農家ガ危機ニ瀕シナイト云フヤウナ方策
ニ結付ケテ行カナケレバ、今後ハ徒ニ養蠶
バカリヲ專業トシテ、假ニ亞米利加ノ消費
狀態ニ依ッテ極端ナ變化ガ來タ場合ニ、農家
自ラガ倒レルト云フヤウナコトガアッテハ、
是ハ非常ナ重大ナ問題デアルカラシテ、ソ
レ等ノコトノナイヤウニ、我ミハ出來ル
ダケ之ヲ指導シテ行キタイ、從テ今御尋
ネノ專業ノミニ我ミノ方ハ邁進シテ行キ
タクナイト云フ氣持ヲ有ッテ居ルノデゴ
ザイマス、デゴザイマスカラ單ニマア副業
ノミニ指導シテ參リマシテモ、其縣デ外
ノモノガ出來マセヌケレバドウモ致方ガナ
イト思ヒマス、事情許セバサウ云フ風ニ指
導シテ行キタイ、サウ云フ風ニ考ヘテ居ル
次第デアリマス

考ヲ持ッテ居ルト云フ御説明デ、大體私ノ考
ヘテ居リマス農家ノ副業トシテ進ム方ガ宜
カラウト云フ、私ノ考ト御意見ガ大體一致
スルモノト考ヘテ居リマスガ、然ラバ只今
申上ゲマシタヤウニ此農家ノ副業トシマシ
タ場合、産繭ニ對シマスル處理等ハ、矢張
リ養蠶組合、或ハ養蠶實行組合等ノ機關ニ
於キマシテ、販賣及乾繭ノ處理等ニ付テ施
設ヲシテ行ク、斯ウ云フコトニナリマセウ
ガ、ソレカラモウ一方此繭ハ私ガ申ス迄モ
ナク、生絲ノ原料トシテ生産サルベキモノ
デアリマシテ、生産者タル農家ヲ主體ニ致
シマスガ、製絲家ヲ主體ニスルノデアルカ、
其點アタリモ餘程考究ヲ要スル點ト考ヘマ
ス、原料生産タル農家ヲ主體トシタ場合ニ
ハ、矢張り増産其他ノ結果ヲ生ジハシナイ
カ、或ハ只今申上ゲタヤウニ、乾繭等ノ場
合、其方ガ處理ヲ誤ル點ガアルノデヤナイ
カト云フヤウナコトヲ心配サレルノデアリ
マスガ、只今現ニ行ハレテ居リマス製絲家
ニ依ル特約組合ノ飼育狀況ト云フコトハ、
ドウ云フ成績ニナッテ居リマセウカ、此製絲
家ヨリ特約シテ飼育サセルト云フ點ハ、製絲
家ノ製絲原料トシテ最モ適切ナル品種ヲ現在
選ンデ飼育サセマスノデアリマスカラ、其生
産サレタ繭ハ直ニ製絲家ノ手ニ依ッテ適當

ノ處理ヲシ、製絲ノ原料トシテ最モ適當ナルモノヲ得ルヤウナ組織ニナッテ居ルノデアラウト考ヘルノデアリマスガ、其成績等ニ付テハドウ云フ狀況ニナッテ居リマセウカ、此點ヲ併セテ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(井野碩哉君) 養蠶家ノ經營方針ヲ今後事業ニノミ進マナイトシタ場合ニ於ケル、產繭處理ノ方途ハドウデアアルカト云フ御尋デゴザイマスルガ、專業ニ假ニ參リマセズデモ、農家ト致シマシテハ、此養蠶ヲ俄ニ他ニ轉向セシムルコトノ容易デナイコトハ、是ハ御承知ノ通りデゴザイマスカラ、從テ產繭ノ處理ニ付キマシテハ、最モ我ミト致シマシテモ考ヘナケレバナラス

點デアラウト考ヘルノデアリマス、此如何ニ依リマシテハ折角出來マシタ繭モ、或ハ非常ニ安ク手離サナケレバナラス、又時機ヲ失シテ其商品ノ價值ヲ低メルト云フコトニナルノデゴザイマスカラ、產繭處理ニ付キマシテハ、出來ルダケ適當ナル方策ヲ講ジテ行ク必要ガアル、斯ウ考ヘテ居ルノデゴザイマスガ、現狀ハドウカト申シマスルト、產繭處理ヲ致シマス現狀ニ於キマシテハ、乾繭取引ニ依リマスモノガ約一割強デゴザイマス、ソレカラ産業組合製絲ニ依リマシテ處理イタシマスモノガ約一割、

特約取引ニ依リマシテ處理イタシマスモノガ約四割、其他ノモノハ繭市場又ハ仲買人ニ依リマシテ、處理サレテ居ルヤウナ現狀デゴザイマス、從テ生繭ガ一時ニ、此繭ノ出盛期ニ殺到イタシマスルコト事體ガ、養蠶家ナリ製絲家ニ取りマシテハ、非常ニ不利ナ事情ニアルガ故ニ、全部之ヲ乾繭取引ニスベシト云フ議論ガ、相當ニ最近起ッテ居ルノデゴザイマスルガ、是モナカナカ見方ニ依リマシテ、何レガ宜イト云フコトハ相當ニ議論ガアルノデゴザイマス、今日製絲家ノ釜數ガ約三十六萬釜程ゴザイマスガ、之ニ此釜ヲ全部働セマス爲ニハ今日ノ繭デハ足りナイノデ、寧ロ釜ノ方ガ多イノデアリマシテ、今日ノ一億萬貫ノ繭ヲ處理シマシ場合ニハ、二十五萬釜アレバ十分ナノデゴザイマス、從テ生繭ノ取引デアリマシガ爲ニ、或ハ製絲家ガ此繭ノ出盛期ニ却テ買急グト云フコトモアッテ、其爲ニ繭價ガ割合ニ高ク維持サレルト云フコトモ時々起ル現象ナンデゴザイマス、養蠶家カラ見マスレバ生繭デアアルガ爲ニ却テ高ク賣レルト云フコトハアリ得ルノデアリマス、併シ實際ニ於キマシテハサウ云フ風ナ譯デ、製絲家ガ一時ニ之ヲ買急グ爲ニ、先キニ行ッテ繭價ナリ絲價ガ暴落ヲシテ損ヲスルト云フ、

所謂危險負擔ヲ製絲家ノミガ負フト云フコトハ、産業組織ノ上カラ言ッテ妥當トハ言ハレナイノデアリマシテ、出來得レバ乾繭取引ヲ致シマシテ、此繭價ナリ絲價ノ將來ノ値下リナリ値上リノ負擔ヲ、養蠶家ト製絲家ト兩方ガ負ッテ行クト云フコトガ、產繭處理ノ上ノ理想デハナイカト考ヘテ居リマス、從テ組合製絲ハ其ハツノ現ハレデアリマシ、又乾繭取引ハ一ツノ現ハレデアリマシテ、我ミノ方モ今後ハ特約ハ別ト致シマシテ、ソレ以外ノモノハ出來ルダケ乾繭設備ノ擴充ヲ圖リマシテ、乾繭取引ニ導イテ行キタイ、サウシテ製絲釜ノ剩餘ノモノハ出來得ルダケ合同ナリ、設備ノ改善ヲ致シテ、サウシテ所謂繭ノ供給ニ對シテ、需要ニ適合セシメテ行キタイト考ヘテ居リマス、サウナリマスレバソコニ無理ナ投機的ノ取引ガ少クナッテ參リマシテ、合理的ナル取引ガ行ハレテ、養蠶家モ製絲家モ共ニ適正ナル取引ガ行ハレルト云フコトニナッテ參リマスカラ、其方針ニ向ッテ進ンデ行キタイト考ヘテ居リマス、從テ此產繭處理ノ上カラ申シマシテ養蠶家ヲ主トスルカ、或ハ製絲家ヲ主トスルカト云フ御尋デゴザイマスガ、是ハ私共ト致シマシテハ兩者共ニ其利害ノ均分イタシマスヤウニ考ヘテ行キタ

イ、勿論今日二百萬戸ノ養蠶家ガ、農村ニ於テ重要産業トシテ行ハレテ居ルノデアリマスカラ、此利害ヲ無視シテ施設ヲスルコトハ出來ナイコトハ無論デアリマスガ、無論之ニ相當重キヲ置カナケレバナリマセウガ、又一面製絲家モ三千有餘ノ工場ヲ有ッテ活動シテ居ルノデアリマスカラ、ソレ等ノ利害ヲ考ヘテ行カナケレバナリマセウ、製絲家ノ利害ノ調和ヲ圖ルコトガ今申上ゲマシタ產繭處理ノ上カラ、乾繭取引ニ導イテ行クト自體ガ相當ニ效果ガアルデハナイカト考ヘテ居リマス、唯茲ニ最後ノ特約取引ノ問題デゴザイマスガ、是ハ製絲家ガ自ラ蠶種、蠶種ヲ養蠶家ニ配リマシテ、サウシテ飼育カラ指導シテ自分ノ方ニ持ッテ來サセル、其代リ價格其他ノ點ニ於テハ特約ニ依ッテ定メテ行クト云フ行方デゴザイマス、是モ生絲ノ品位ヲ齊一ナラシムル上カラ申シマス非常ニ面白イ制度デゴザイマシテ、今日亞米利加ガ需要シテ居ル生絲ハ、出來ルダケ此輸出生絲質ノ揃フモノデナケレバイケナイノデアリマス、其意味カラ言ヘバ特約取引ハ非常ニ其目的ニ適合スルノデアリマスガ、唯特約ナルガ爲ニ養蠶家ハ他ニ繭ノ處理ガ出來ナイト云フコトカラ、其契約自體ガ適正デゴザイマセスト非

常ニ養蠶家ハ不利ヲ被ル譯デアリマスカラ、特約取引ニ對スル契約條項或ハ其他ノ點ニ付テハ、府縣廳ナリ其他ノ監督官廳ヲシテ十分ニハ取締テ行ッテ、サウシテ取締リト同時ニ指導ヲシテ、適正ナル取引ニ導イテ行キタイ、今日四割程ハ產繭處理迄ノ特約取引ニナッテ居リマスガ、ソレ等ノ中デ相當弊害ノアルモノハ認メラレルノデアアルガ、此弊害アルモノニ付テハ、今申上ゲマシタヤウニ監督ヲ嚴重ニシ、良イモノハ出來ルダケ助長シテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○男爵足立豐君 只今ノ御説明ニ依リマシテ大體諒承イタシマシタガ、此製絲家ニ依ル特約取引、特約イタシマシテ農家ニ飼育サセ、其出來マシタ繭ヲ製絲家ハ買上ゲルト云フ仕組ノ中ニ、往々是ハ農家ノ誤解或ハ十分了解シナイ點カラ生ズルコトデハナイカト思フノデアリマスガ、折角製絲家ガ優良ナル蠶種ヲ改良サレ、ソレヲ特約シテ質ノ改良ヲ得ヤウト云フ、斯ウ云フヤウナ組織ニナッテ居ルニ拘ラズ、一面農家ノ聲ヲ聞クト、製絲家ニ依ル特約飼育ハ大變結構ノヤウニ考ヘテ居ッテ所ガ、其蠶ハ桑ノ消費ガ可ナリ多ク消費スル、出來タ繭ニ付テ看貫テ取引スルガ、其看貫取引ノ際ニハ繭ガ

少サクナッテ繭ノ量ガ多イ、ソレニ拘ラズ製絲家ハ時價ヨリ僅ナ高價ニ買上ゲラレルノデ、能ク其點ヲ計算シテ見レバ矢張り繭ノ大キイ、品質ハ悪クテモ繭ノ大キイ方ガ看貫取引ニハ都合ガ好インダ、斯ウ云フヤウナ誤ッタル考ヲ有ツ農家ガアリマ Syaウニ考ヘマス、今回ノ原蠶種ニ依ル蠶種ノ統制等ノ場合、農家ノ誤解ニ依ル結果ガ生ジテ來ハセスカ、斯ウ云フ點モ考ヘラレルノデアリマスガ、次ニ農家ニ於キマシテ左様ナ誤解ハナイヤウニ、又經濟的ニ進ミ得ルヤウナ品種ヲ、相當御考慮ニナル必要ガ私アルダラウト考ヘルノデアリマスガ、左様ナル農家ノ誤解等ハ御耳ニ入ッテ居リマセヌカ如何デゴザイマスガ、其點ヲ一應伺ッて見タイ

○政府委員(井野碩哉君) 特約取引ニ付キマシテ、農家ガ飼育イタシマシタ繭ヲ製絲家ガ買ヒマス場合ニ、農家ノ満足シナイ所ノ成績標準ニ依ッテ之ヲ購入スルト云フコトハ、農家自身ガ自分ノ作リマシタ繭ニ付テノ成績如何ヲ、自ら検査イタシマスル施設ガアリマセヌカラ、當然サウ云フコトハアリ得ルコトダラウト思ハレマス、ソコデ我々ノ方ハ今日輸出製絲ニ付キマシテ、輸出者ト問屋トノ間ニ從來起リマシタ荷物ノ

……先程申上ゲタヤウナ數量ト品位ノ各點ニ付テノ検査ヲ、横濱検査所ガ第三者トシテノ検査ヲ致シマシタ爲ニ、茲ニ公正ナ取引ガ行ハレテ來タト同ジヤウニ、繭ニ付キマシテモ第三者ノ検査ガ必要デアラウト考ヘマシテ、繭検査所ト云フモノヲ各府縣ニ設ケサスベク計畫ヲ立ッテ居リマス、ソレハ昭和六年度カラ始メマシテ十五年度迄ニ七十六箇所各府縣ニ設ケルコトニナッテ居リマス、此繭検査所ニ於キマシテハ繭絲ニ依リマスル検査ヲ致シマシテ、サウシテ農家ガ作リマシタ繭ガドノ位ノ絲分ヲ有ッテ居ルカ、解舒ガドウ云フ成績デアアルカト云フコトヲ此検査所デ検査シテヤルノデアリマス、サウシマス農家モ自分ノ作リマシタ繭ガ是ダケノ成績デアアルト云フコトガ分

レバ、全國的ニ統一シタ規定マデモ設ケテ見タイト云フヤウニ考ヘテ居リマス譯デアリマス、各府縣ニ於キマシテモ今日色々ナ取締規則ヲ作ッテ、特約取引ニ付キマシテノ指導監督ヲ致シテ居リマスガ、國自ラモ今後ハソコ迄進ンデ行ク必要ガアルノデハナイカト云フヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○武井覺太郎君 一昨々日蠶絲局長サンカラシテ、將來產繭ノ統制ヲスル場合ニ於キマシテハ、普通蠶種マデモ統制ヲスル思召シノヤウニ伺ッテ居リマシテ、尙ホ此管理法案ノ第十四條ニハ「主務大臣ハ蠶種製造者ニ對シ蠶種ノ統制上必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得」ト云フコトガアリマスガ、之ニ依リマシテ普通蠶種ノ統制トカ取締トカ云フヤウナコトガ出來マフルノデゴザイマスガ、ヤリマスノハドウ云フ方法ヲ以テ此統制ヲスル譯デアリマスガ、其邊ヲ伺ヒタウゴザイマス

○政府委員(井野碩哉君) 此原蠶種管理法ノ目的ハ、蠶種製造ヲ國ニ於テ管理スルノデアリマスカラ、只今御述べニナリマシタヤウナ蠶種、是ハ原原種、原種ノミナラズ普通蠶種ノ統制モ此法案ニ依ッテ行ッテ行キタイ、ソレハ十四條ニ依ッテ其權限ヲ農林大

臣ガ有ツ譯デアリマスガ、之ヲ實行イタシマス場合ニハ、大體當業者ガ蠶種ノ非常時ニ於キマシテ、或一定ノ數量制限ヲシナケレバナラス、或ハ價格制限ヲシナケレバナラスト云フヤウナ場合ニ、養蠶家、製絲家其他ノ業者ガ一致シテ一ツノ自治的統制ヲ行フト云フ場合ニ、蠶種ノ部門ニ於テモ何等カノ統制ヲ行ハナケレバナラスト云フ時ニ、國ノ權力ヲ有チマスコトガ其統制ノ效果ヲ全カラシメル上ニ非常ニ有利デアルト云フ場合ニ、此出動ヲ見ルコトガ多イト考ヘテ居ルノデアリマス、從テ他ノ業者ガ何モシナイ時ニ、普通蠶種ノ製造ニ當ッテ數量制限ヲ強制的ニ行ツテカウト云フヤウナ意思ハ、此十四條カラ考ヘテ居ラナイ次第デアリマス

○委員長(侯爵大隈信常君) 只今大臣ガ御出席ニナリマシタガ、今日ハマダ色々御用ガアルヤウデアリマスガ、大臣ニ御質問ノアル御方ハ、ドウゾ願ヒタイト思ヒマス

○男爵足立豐君 大臣ガ御出席デアリマスカラ、私此蠶絲業ノ根本策ニ付キマシテ一應御意見ヲ伺ツテ置キタイト考ヘテ居リマス、一言ニシテ申シマスレバ蠶絲業ノ將來ニ對スル方針如何ト云フコトニナリマスガ、御承知ノ如ク蠶絲業ノ興廢ハ單ニ當業者ノ浮

沈ニ關ヘルノミデナク、國家經濟トシマシテモ甚大ナル影響ヲ齎ラスモノデアリマスカラ、其點ニ付キマシテ當局ト致サレマシテハ何カ一貫シタ茲ニ御方針ヲ御立テニナツテ御進ミノコトト存ゼラレマスルガ、只今迄モ是等ニ付キマシテハ施設ナシトハ私ハ申上ゲマセヌガ、何レモ切レノニナツテ居リマシテ、一貫シタ政策ガ立ッテ居ラヌヤウニ考ヘラレマスノデアリマス、先日織田子爵ヨリ御説明ノ際ニ、今後我國ノ蠶絲業ハ各業ニ互ッテ統制的施設ヲ講ズルコトノ必要益、切實ナルモノガアルガ、其中最モ蠶絲業ノ根源ヲ成ス蠶種ニ付テ適切ナル統制ヲ圖ルコトガ最モ急務デアルト云フコトヲ仰セラレマシタガ、今回ノ此蠶絲業ノ根源タル原蠶種ノ管理ト云フコトヲ御立案ニナリマシタコトハ、最モ私共モサウナクテハナラスト常ニ考ヘテ居ツタノデアリマスルガ、其外各業ニ互リマシテ一貫セル統制ヲ確立ナサルコトハ其必要ヲ御認メニナツテ居リマスガ、其一貫セル統制ト云フコトニ付テ大體伺フコトガ出來マスレバ仕合せト考ヘマス、伺フ所ニ依リマスルト輸出生絲販賣統制案デスカ、ソレモ御提出ニナルカノヤウニ伺ッテ居リマスルガ、其外飼育方面、詰リ養蠶家竝ニ生絲業者、其間ニ於キ

マスル何等カノ統制等モ必要ト存ジテ居リマスルガ、是ハ私ガ申ス迄モナク御當局ニ於テハ、米ニ於テ相當苦イ經驗ヲ御嘗メニナツテ居ルコトデアリマスカラ、此生産ト云フコトニ御考ヲ及ボシテ戴キマセヌ限リハ、又米穀ニ於キマスルト同様ニ其苦イ經驗ヲ繰返スコトトナリハセヌカト氣遣ハレルノデアリマス、殊ニ生絲ハ我國輸出品中第一位ヲ占メテ居ル貿易品デアリマス關係、外國ノ財界ノ事情ニ依リマシテ始終左右サレルト云フ點モアリマスルシ、其點ハ米トハ又趣キヲ異ニシテ居リマスノデ、此輸出方面ニノ御力ヲ御盡シニナツテ、生産ト云フ方ニ十分御注意ニナリマセヌケレバ、又生産ノ過剩ト云フヤウナコトモ出デ参リマセウシ、ソレカト申シマシテ生産制限ヲヤラウト云フコトニナリマスレバ、農家ノ主トシテ副業トシテ今日成立ッテ居リマス養蠶デアリマスカラ、俄ニ生産ヲ制限スルト云フコトモ困難ナ事情ニアリハセヌカト斯ウ考ヘルノデアリマスルガ、然ラバ此生産ヲ制限セズ、生産過剩ニナラズト云フヤウナ、其處ニ一貫シマシタ生産方面ニ對スル統制モ御付ケニナツテ置カナケレバナラスト存ジマス、ソレ等ノ各般ニ互リマス政府ノ御方針ヲ伺フコトガ出來マス

レバ仕合せト存ジマス
○國務大臣(後藤文夫君) 蠶絲業ノ將來ニ對スル對策ニ付テ、根本ニ互ル御尋デゴザイマスガ、御質問ノ中ニモ御述ベニナリマシタル事柄ガ、總テ其要點ニ關シテ居ルコトト存ジマス、今後ノ我國ノ蠶絲業ガ海外市場ノ情勢、人絹等ノ進出ニ對シマシテ現在ノ地歩ヲ維持シ、或ハ進ンデ將來ノ進展ヲモ圖ラウト云フコトニナリマスルト云フト、ドウシテモ大キナ三ツノ目標ガアルヤウニ思フノデアリマス、一ツハ生産費ノ低下ヲ圖ルト云フコトデアリマス、一ツハ蠶絲業ガ全體ニ互ッテ秩序ト統制トガ保タレテ行クト云フコトデアリマス、第三ニハ販路ノ維持竝ニ擴張、此販路ノ維持擴張ハ現在ノ販路ヲ地域的ニ維持スルト云フコトノ外ニ、新シイ地域ニ生絲ノ販路ヲ擴張シテ行クト云フコト、又一面ニハ今マデ生絲ガ消費サレテ居ラナイ領域ヘ生絲ガ入ッテ行く、詰リ羊毛トカ綿絲トカノ領域ナリ、或ハサウ云フ纖維ヲ使ッテ居ラナイ他ノ何カノ領域ヘ、生絲ガ新シイ用途トシテ入ッテ行く、生絲ノ新規用途ノ開拓、販路ノ維持、販路ノ開拓、新規用途ノ開拓、斯ウ云フ事柄ガ第三トシテハ考ヘラレルコトト思フノデアリマス、從テ生産費低下ト云フコトノ

爲ニ、此原蠶種國家管理法ニ依リマシテ蠶品種ノ統一ガ付キ、品種ノ亂雜ガ防ガレテ、飼育上ニモ損失ガ少クナリ、又種ノ製造ノ上ニモ浪費ガ少クナルト云フヤウナ事柄モ、生産費低下ノ一助トモ相成ルノデアリマス、又桑園ノ改植、整理等ニ依リマシテ、生産費ヲ低下セシメルト云フコトモ出来マス、又養蠶業ガ專業又ハ主業デアル状態ヲ漸次改善ラシテ行キマシテ、之ヲ出来ル限り副業的ノ地位ニ段々持ッテ行クト云フコトガ出来マスレバ、此方面ニモ色々生産費ノ低下ヲ圖ルコトガ出来ルノデハナイカト思フノデアリマス、其外製絲業ノ工程ニ於ケル各種ノ改良、金融關係ノ改善ト云フヤウナコトカラ、矢張り製絲業ノ工程ニ於テモ、生産費ノ低下ト云フコトガ考ヘラレルノデハナイカト思ヒマス、ソレカラ尙ホ副産物……先達モ此委員會デ御話ガアリマシタガ、桑ノ皮ヲ紙ニスルト云フヤウナコトガ十分ニ進メバ、非常ニ其方デ生産費ガ低下スルコトニナルノデハナカラウカ、或ハ蛹ノ利用ト云フコトガ進メバ、其方デモ生産費ノ低下ガ行ハレルノデハナイカト云フヤウナ、各種ノ問題ガ今日研究サレテ居ル、ソレ等ノコトガ總デモウ餘程眞剣ナ態度ニ依ッテ研究ヲ進メ、研究ニ

止マラズ實現ヲスルヤウニ努力ヲ成ルベク速ニシテ貫ハナケレバナラスト思フノデアリマス、是等ハ政府其他ニ於キマシテ研究ヲシ、又指導モ致シマスガ、當業者ノ側ニ於テモ非常ナ奮發ヲシナケレバナラストコトデアルト思ッテ居リマス、ソレカラ蠶絲業關係ノ各業ニ互ッテ、秩序統制ガ圖ラレテ行クト云フコトガ、今日ノ蠶絲業ノ状態ニ於テハ極メテ痛切ニ必要デアルト感ゼラレテ居ルノデアリマス、此今回ノ原蠶種國家管理法ニ依ッテ蠶種ノ統制ヲ圖ルト云フコトモ、今ノ生産費低下ノ點カラ申シマシテモ、亦一面ニハ繭ノ品質ヲ統制シテ、製絲ノ上ニ於ケル生産費ノ低下ヲ圖リ、又絲ノ品質ノ改善、維持ヲ圖ッテ行ク、是ガ販路ニ關係シ又影響シテ參リマスル點カラ申シマシテモ、亦必要ナル場合ハ思ヒ切ッタ當業者ノ自治的ナ統制ノ上ニ、政府ガ援助シテヤルコトガ出来ルヤウナ場合ヲモ、非常ノ際ニハ豫想シテ置カナケレバナラスト、サウ云フヤウナコトモ考ヘマシテ此原蠶種國家管理法ヲ提出シタ譯デアリマス、ソレカラ先年製絲業法ノ改正ヲ行ヒマシテ、製絲業ニ付テモ漸次統制ノ途ガ立ッテ行クヤウニ致シテ參リタイト云フコトヲ考ヘテ居リマス、又養蠶ノ實行ノ方ニ於キマシテモ、養

蠶實行組合等ノ制度ガ今立ッテ居リマシテ、マダ日ガ淺イノデアリマスケレドモ、斯ウ云フモノヲ益、進歩サセマシテ、養蠶家ノ間ニモ統制ガ保テルヤウニ致シテ參ラナケレバナラスト思ッテ居ルノデアリマス、又養蠶家ト製絲家トノ間ニ於テ起ル繭ノ取引關係ニ於キマシテモ、漸次一般ノ市場ニ於ケル繭ノ取引ガ、乾繭ノ取引ニナリマスルヤウニ進メテ參リタイト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、取引ガ乾繭取引ニ、一般市場ノ普通ノ取引ガ乾繭取引ニナルヤウニ進メテ參リタイ、尤モ之ガ爲ニハ乾繭ノ設備ト云フモノヲ充實シナケレバナラストノデアリマス、直ニサウ云フヤウナコトヲ實行スルト云フ譯ニハ參リマセスケレドモ、マア先年來ズット其事ハ獎勵ヲ致シテ參ッテ居ルノデアリマス、今後ニ於キマシテモ此獎勵ヲ益、進メテ參ル、サウ云フコトニ致シタイト思フノデアリマス、ソレカラ絲ノ販賣ノ點ニ於キマシテモ、殊ニ搦絲ノ販賣ノ點ニ於キマシテモ相當ナ統制ガ取レマシテ、絲價ノ安定ノ上ニ效果ノアルヤウニ致シタイト思フ、ナカ／＼是ハ困難ノ問題ヲ伴ヒマスノデ、直キニソレハサウ云フコトニハ參リマセスケレドモ、實行ノ出来マシタ事柄ヲ進メテ參リタイ、斯様ニ致シマシ

テ各業ヲ通ジテソレ／＼各般ノ統制方法ガ立ッテ參リマスレバ、海外市場ト内地ノ生産關係ヲ漸次調節シテ行クト云フ事柄モ行ハレテ來ルコトニ相成リ得ルコトデハナイカト思ッテ居ルノデアリマス、サウ云フ各業ニ互ル統制法ヲ進メテ參リマスルコトト併セテ、最後ニ申シマシタ新規ノ生絲ノ用途ヲ開拓シテ行クト云フ事柄ニ力ヲ注イデ行キタイ積リデ居リマス、是ハ尤モ一方ニ於テハ生産費ノ低下ト關聯ヲ致ス問題デアリマスガ、生絲ハ最高級ノ纖維トシテ各種ノ纖維ノ中デ、最モ價ノ高イ珍重サレルモノニナッテ居リマシテ、今後ト雖モ生絲ノ持ッテ居ル特色ハ當分其價値ヲ持續シテ參ルコトハ存ジマスルケレドモ、人絹等ノ非常ニ進歩ニ依リマシテ……生絲ガ他ノ纖維ヲ壓倒シテ行カウト云フ、高級纖維トシテノ獨歩ノ境場ヲ……世界各國ノ人ノ嗜好ガ段々向上スルト共ニ其嗜好ガ生絲ニ集マルト云フコトニモ限ラヌノデアリマスカラ、纖維製品ニ對スル嗜好ガ向上スレバ生絲ノ獨歩ノ境場ト云フコトニモ參リ兼ネルヤウナ事情モアルト思ヒマスカラ、從テ生絲ガ持ッテ居ル動物纖維トシテノ特別ナ特色ヲ人絹等ニ對シテ發揮シテ行ク、生絲ノ聲價、高級纖維ニ對スル嗜好ト云フモノノ持續ヲ生絲ニ集メテ行クト云

フコトハ、今後努メテ参ラナケレバナラヌシ、其方ノ望ミモ絶對ニ無クナッタ云フコトモナイト思ヒマスルカラ、人絹ノ發達ガ如何ニ進歩イタシマシテモ、生絲ト人絹トノ相違ト云フモノハ良ク殘ルモノデアリマス、詰リ人絹トノ生絲ト相違ヲ高調シ、ソレニ依ッテ特色ヲ發揮シタヤウナ創作的製品ヲ考ヘテ、需要者ニ其差異ヲ示シテ嗜好ヲ引付ケテ行クト云フコトノ努力ハ、今後モ續ケテ行カナケレバナラスト思ヒマス、ソレト同時ニ生絲ハモット變ツタ綿絲、又ハ羊毛等ノ用途ノ範圍ヘ入ッテ行クト云フコトガ出來ナイモノデモナカラウト考ヘラレルノデアリマス、尤モ之ガ爲ニハ今後トシテハ織物ニナル絲ノ構造ハ、今ノ最高級ノ纖維トシテノ生絲ノヤウナモノデハイケナイカモ知レスト思フ、或ハ繭カラ直ニ潰シテ掛カルト云フヤウナ簡易ノ方法ヲ茲ニ考ヘナケレバナラスカモ知レマセヌガ、又同ジ絲トシテ使フニシマシテモ今ノ梳絲ノアノ非常ナ纖維ノ小サイモノ其儘デ扱フト云フヨリモ、最初カラ撚絲ノヤウナモノニナッテ是使用サレルト云フヤウナコトモ必要デハナイカトモ思ハレル、昨今果シテ工業化スルカドウカ分リマセヌケレドモ、「ベルト」ニ繭ヲ潰シテ製作スル試驗等ヲシテ居ル

人ガアリマス、今日ノ所デハ工業化スルカドウカ直ニ私共ガ斷言スルコトガ出來マセヌケレドモ、サウ云ツタ是マデ普通纖維ノ使ハレテ居ラナイ範圍ニマデ、生絲ガ其用途ヲ開拓スルト云フヤウナコトモアリ得ルノデアリマス、要スルニ生絲ノ新規ノ用途ニ依ッテ創作、創造ノ力ヲ發揮シテ、新天地ヲ開拓スルト云フコトハドウシテモ努力シテ見ナケレバナラストコトデアル、此事ハマダ努力ノ出發點ニ居リマスノデ、將來ノ見込ハ我ニ申上ゲ兼ネマスルケレドモ、併シ我國ノ蠶絲業ガ單純ナ工業的ノ企業デハナクシテ、農村ノ非常ナ大キナ産業トナッテ居リマス點カラ、餘程將來ノ是ガ永續性ト云フモノヲ確保スルコトヲ考ヘテ参リマセヌト云フト、大變ナ大變化ガ茲ニ生ジナケレバナラスデノアリマス、只今申シタヤウナ新規用途ノ方面ニモ一ツ極力官民共ニ、新天地ヲ開拓スルト云フコトヲ考ヘテ見タイト思フノデアリマス、前年滯貨生絲ノ買上ヲ致シマシテ、之ガ處分ニ付テハ一般ノ生絲ノ消費ノ領域ヲ侵サナイ、生絲ノ市價ニ影響スルヤウナコトノナイヤウナ方法デ處置シテ行クト云フコトハ法律ニ定ッテ居リマス、法律ニ定ッテ限度内ニ於テ試驗研究ヲシテ、新規用途ノ爲ニ處分ヲ僅カ宛デモヤッ

テ參ッテ居ルノデアリマスガ、幸ニシテ生絲ノヤウナ高價ナル原料ヲ用フルノハ普段ノ場合デハ殆ド試驗ト云フモノニ手ガ出ナカッタノデアリマス、是等ノ試驗ノ途ガ開カレテ居リマス爲ニ、段々ト各地ノ試驗場等ニ於キマシテ、又陸海軍等ニ於テモ、之ガ試驗ヲ進メテ戴キマシテ、陸海軍ノ被服、其他ノ用途ニ可ナリ生絲ガ使ハレルト云フコトニ今日試驗ガ出來タヤウナ譯デアリマス、併シ之ガ經濟的ニ使ハレルト云フノニハ、今ノ生絲ノ普通ノ價ヲ以テシテハ非常ニ困難ニ相成ッテ居リマス、併シ段々ト新規用途ノ試驗等モ豫想シタヨリモ、其點ハ進展シテ參ッテ居ルヤウニ思ハレマス、斯ウ云ツタヤウナ大體ノ事情デアリマシテ、今後生絲ガ過去ニ於ケルガ如キ非常ナ高價ナ値段ヲ維持シテ、サウシテドンノ需要ガ増シテ行クト云フヤウナ状態ヲ想像シテ行ク譯ニハ参リマセヌト思ヒマス、生絲ノ値段ハ左様ニ高クナクトモ、蠶絲業全體ガ困ラナイデ利潤ヲ得ルト云フヤウナコトニ相成ッテ、海外ノ市況其他ノ狀況ニモ順應シテ、自ラ需給ノ調節モ行ハレルヤウニナッテ、生絲ノ價ハ安定ヲシ、生絲ニ關係ノアル各業ガ安定ヲ致スト云フ風ニ導イテ参ラナケレバナラスト思ッテ居リマス、サウ云フ

見地カラ成案ヲ得マシタモノハ、實行ノ可能ト云フ見込ノ付キマシタ事柄ヲ著々ト實施ヲ致シテ参リタイト考ヘテ居リマス、原蠶種管理法案ヲ提出イタシマシタノモ、又近ク生絲ノ販賣統制ニ關スル法案ヲ提出イタシマスノモ、又豫算ニ於キマシテ新規事業等ノ經費ノ御要求ヲ致シテ居リマスルコトモ、皆サウ云ツタ見地カラ成案ヲ得マシタ部分ニ付テ、出來ル限り速ニ實地ニ著手イタシテ見タイト云フ趣旨ニ外ナラスノデアリマス、大要只今申シタ通りデアリマス

○男爵足立豐君 只今御誠意ノアル御説明ヲ承リマシテ、蠶絲業ノ將來ニ對シ御話ノ如クニ追ヒ其施設ヲシ、統制ヲ圖ルト云フヤウナ御言葉ヲ拜聽イタシマシテ、私モ此蠶絲業ノ爲ニ更ニ心ヲ安ウスル者デアリマス、財政上其他種々ノ御都合ニ依ッテ、其時其時ノ御計畫ガ、繰延ベ等ノコトノ起リマセヌヤウニ、成ルベク一貫シタ御方針ヲ急速ニ御實現ニナルヤウニ御努力アラムコトヲ切ニ希望イタシマス

○阿部房次郎君 此本案ニ付キ御尋ネシタイコトモアリマスケレドモ、大臣ガ幸ヒ御出席デアリマスカラ、今我國ノ蠶絲業ノ前途ニ付テ色々御話ガアリマシタ、ソレニ付テ一應御伺ヒ致シタイト思フ、只今大臣カラ

御話ノアリマシタコトハ、我國ノ此生絲ト云フコトニ付キマシテハ、前途改良ヲシナケレバナラヌ色ミナ點ニ於キマシテ、詳細ヲ御盡シニナツテ御話ニナリマシタノデ、是ハ皆最モ必要ナコトト存ジマスガ、其中デ急務ナコトト、後廻シニシテモ宜イコトトアリマスルガ、私共ガ見テ居リマス云フト、最近ノ人造絹絲ノ此發達ノ狀態カラ見マスルト、日本ノ生絲ナルモノハ生産費、言換ヘマスレバ生絲ノ價ト云フモノヲウント安クシナケレバ、兔毛角モソレヲ安クシナケレバイカスノデヤナイカト斯ウ考ヘル、ソコデ人造絹絲ノコトハ何デアリマスルガ、亞米利加ノ人造絹絲ノ今日ノ相場ハ、日本ト比ベマスルト非常ニ高イノデアリマス、生産費モ日本トハ倍以上モ高イノデアリマス、ケレドモ亞米利加ニ生絲ヲ輸出イタシマスカラ、亞米利加ヲ標準ト致シマシテ生絲ノ價格ヲ見マスレバ、最近デハ先ヅ人造絹絲ノ二倍見當位ガ生絲ノ先ヅ相場トシテハ適當デアラウカト云フヤウナコトヲ言フテ居ル人モアルノデアリマスガ、其邊ハドノ邊ニアルカ存ジマセヌケレドモ、兔ニ角人造絹絲ト云フモノガ今デハ世界中デ日本ガ一番安イ、是ハ驚ク程安イノデアリマス、ソレハ兔毛角ト致シマシテ亞米利加ノ人造絹

絲モ亦、改良進歩スルト安クナリ得ル可能性ガアルノデアリマス、ソレニ對抗シテ行クノニハ日本ノ生絲ナルモノヲ、從來トハ違ツテ非常ニ茲ニ安イ物ヲ生産スルト云フコトノ考ヘガ出ナイト云フト、生絲ノ方ハムヅカシイノデアリマス、輸出ガムヅカシイノデアリマス、無論統制シテ、茲ニ原蠶種ノ統制、或ハ販賣ノ統制、是レ皆ナ必要ナ手段デアリマシテ、私ソレニ對シテ贊成ヲ致シテ居リマスルケレドモ、ソレヨリハ先ヅ生絲ノ價格ヲ安クスルト云フコトガ第一ノ問題デアラウト思フ、ソレニ付テ是ハ政府バカリデハイカス、民間ノ者ガ矢張り自力更生シナケレバイカナイノデアリマス、從來製絲業ハ國ノ唯一ノ重要ナル輸出品トシテ、厚キ政府ノ保護ニ依ツテ居ルノデ、兔角政府ノ保護ト云フコト、政府ノ指導ト云フコトニ、凡テ當業者ガ重キヲ置ク傾キガアル、ソレニ依ツテ其改良進歩モ幾分カ遅レ勝ニナツテ居ルノデヤナイカト云フ傾向ガ、私共外觀カラ見ルト見エルノデアリマス、ソレハマア從來ノ傾向デ致方ナイトシタ所デ、ココデ生絲ノ生産費ヲ非常ニ安クスルト云フコトニ於テハ、餘程思ヒ切ツテ之ヲヤラナケレバ安クナラヌト思フノデアリマス、今日ノ人造絹絲ト云フモ

ノト對照イタシテ見マスル場合ニ於テハ、所謂生産費ヲ安クスル、生絲ノ價格ヲ安クスルト云フコトニ付テハ、政府ニ於テ定メシ色ミ御調査モ出來、其方法モ出來テ居ルコトト存ジマスケレドモ、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ政府ノ方デハドウ云フ程度ニマデ、之ヲ安クスルニハドウ云フ方法デヤルカト云フコトニ付テ、色ミ御研究御調査ガ出來テ居ルコトト存ジマスルガ、ソレ等ノ點ヲ若シ幸ニ伺ヒマスコトガ出來マスレバ、甚ダ結構デアリマス

ナラヌ、此時局臣救ノ對策ヲ講ジマシタ昭和七年ノ臨時議會ノ際ニモ、サウ云フ機會ニ、一ツ此方面ノコトニ歩ヲ進メテ見タイト云フコトデ、桑園ノ改善整理ト云フコトニ力ヲ入レテ見タ譯デアリマス、其外各種ノ是マデノ蠶絲業ノ改良政策ガ、生産費ノ低下ト云フコトデニ役立ツモノハ幾ラデモアル、改善ノ方策トシテ……サウ云フコトヲ有力ニ實施ヲシテ見タイト云フコトヲ考ヘテ居リマスシ、又當業者、農家ニ於キマシテ餘程今度ハ工風ヲ凝シテ、生産費ヲ下ゲルト云フコトヲ考ヘテサセナケレバナラヌ、少々高クカカツテモ高ク賣レルカラ、餘計作ツテ賣ツタガ宜イト云フ頭ノ置キ所ヲ變ヘテ貰ハナケレバナラヌ、サウ云フ風ナ研究工風ノ氣運ハ、昨今大分各地ノ農家ノ間ニモ起キツアルノデアリマシテ、是ハ養蠶組合等ヲ指導イタシマシテ、是非一ツ其方向ニ進マセタイト思ツテ居リマス、當局ニ於テ考ヘテ居リマスル具體的な色ミナ事柄ハ多々ゴザイマスガ、政府委員カラ一端ヲ御話申上ガサセタイト思ヒマス

○政府委員(井野碩哉君) 生絲ノ生産費ヲ低下イタシマスル大體ノ方策ニ付キマシテハ、今大臣ガ御述ベニナリマシタ通りデアリマスガ、此生絲ノ生産費ノ中デ最モ重要

ナル部分ヲ占メマスノハ繭ノ原料デアリマス、生絲ノ生産費ヲ大體百斤ニ付キ、今日ハ百二十圓カラ二百圓位マデシテ居リマシガ、是等ノ生産費ハ繭ガ其十分ノ二ヲ占メルヤウナ状態デアリマスカラ、從テ生絲自體ノ生産費ヲ下ゲマスノニハ、繭ノ生産費ヲ下ゲルノデアリマス、繭ノ中ノ約三割カラ四割ヲ占メテ居リマスノハ、桑デアリマス、從テ桑ノ生産費ヲ下ゲルト云フ爲ニハ、桑園ノ改植ガ相當ニ大キナ生産費低下ノ施設ニナル、又肥料ノ方ニ於キマスル政策モ重要ナモノデアリマスガ、現在桑ハ一貫目ノ生産費ハ大體大雜把デゴザイマスガ、十錢見當ニナツテ居ルガ、是ハ大體反當リ收量ガ二百貫カラ三百貫位ノ所デゴザイマスガ、之ヲ四百貫位ニ致シマスコトハサウ困難ナ仕事デハナイノデゴザイマス、サウ致シマスト、十錢ノ生産費ガ假ニ一割五分ノ節約ニシテモ、八錢五厘ニナルト云フコトニナツテ、是等ノ點ニ於テ今後生産費ヲ下ゲル餘地ガ多イノデハナイカト考ヘマス、又繭ノ其他ノ部分ト致シマシテハ、蠶種代ガ主デアリマスガ、是モ今度ハ原蠶種ノ管理ニ依リマシテ、相當ニ種量ノ多イ原種ヲ配ルコトニナルカラ、繭トシテモ相當ニ安ク出來ルノデハナイカ、平均ニ蠶室損料、蠶具損料

等ニ於キマシテハ、餘リ大シテ安クモ出來ナイガ、飼育方法ノ改善ニ依リマシテ、相當ニ多量ナ繭ヲ簡單ナル裝置ニ依ツテ飼育出來ルヤウニナル、此意味ニ於テ相當ノ改善ノ餘地ガアル、是等ノ點ニ於テ色ミノ改善ヲ今後圖ツテ參ル、殊ニ此肥料等ニ付キマシテ、出來ルダケ自給肥料ノ獎勵ヲシテ行ク、或ハ有畜農業ト之ヲ結付ケテ、農家經營方法ニ於テ之ヲ改良シテ行クト云フヤウナコトニ於テハ、更ニ生産費ノ低下ガ出來ル、今日農家ノ繭ノ生産費ハ幾ラニナルカト云フコトハムツカシイコトデアツテ、各府縣ニ於テ非常ニ區々ニナツテ居ルガ、今日ノ生産費カラ更ニ安イ繭ヲ作ルト云フコトニ向ツテ、種々ノ方面ニ於テ改善ヲ圖ツテ行ケバ、決シテ出來ナイコトデナイト思ヒマス、御説ノ如ク人造絹絲ニ對抗シテ、今日日本ノ生絲ヲ出來ルダケノ低廉ナラシメテ行クト云フコトニ付テハ、各方面ニ於テ我ハ出來ルダケ努力ヲ拂ツテ行カウト思ヒマス

○阿部房次郎君 只今ノ御説明デ、農家ニ於キマスル繭ノ生産費ヲ有ラユル方面カラ低下スルト云フコトニ付テ、御努力ニナツテ居ルコトハ能ク分リマシタ、其出來マシタ繭カラ成ルベタ良イ絲ガ十分取レル、所謂歩留リヲ良クスルト云フ問題ニナリマシガ、最近ノ事情ヲ見ルト、絲ニスルマデニ、所謂屑物ニナルノガ多イ、マダ絹屑物ノ利用方法等モモウ一ツ進歩シテ居ラナイ、最近機械的ニ色ミ纖維化學ヲ研究イタシマシテ、是ハモウ最近ノ事實ニ付テ出來ルヤウニナツテ居ルガ、屑物ノ全部はマデ使ヘナイコトトシテ居ッタモノヲ絲ニスルト云フ方法ハ、是ハ化學的ニ出來ルコトニナツテ居ル、サウ致シマス、先ヅ屑物ノ價值ト云フモノガ從來ヨリハ非常ニ好クナツテ來タ、又良イ絲ヲ拵ヘルト云フコトニ付キマシテモ、一層繰絲方法ノ改善デ又歩留リヲ良クスルト云フコトニナリマセウガ、隨分色ミノ機械學或ハ化學的ニ非常ナ變動ガ起ラムトシテ居ルヤウナコトガ、マダ他ニ、一部分ハ出來テ居リマスガ、全體ニ於テト言フノハ早計デアリマスガ、出來ムトシツツアルノデアリマス、サウ云フコトハ御考ヘニナツテ居リマスカドウデアリマス

○政府委員(井野碩哉君) 繭ノ屑物ヲ機械化イタシマシテ、之ヲ利用スルト云フコトニ付キマシテハ、相當ニ種々ノ方面カラ研究ハサレテ居リマス、殊ニ絹絲紡績ニ於キマシテハ其點ガ研究サレテ居ル譯デアリマスガ、其他此繭カラ直接ニ絲ニ致シマセヌデ、色ミノ物ヲ作ル、即チ再製絹絲見タイナ形デアリマス、ソレ等ノ方法ニ付キマシテノ研究モ相當ニ行ハレテ居リマス、即チ繭ヲイキナリ溶カシテシマヒマシテ、ソレカラ人造絹絲ト同ジヤウナ方法デ絹ヲ造ルト云フヤウナコトモ、研究トシテハ行ハレテ居リマス、企業的ニマダ是ガ成立ハ見テ居リマセヌガ、ソレデ是等ノ研究ガ段々進んで參リマスレバ、相當ニ屑物ノ利用ト云フコトハ進んで行クト存ジマスガ、今日私共ノ考ヘトシテハ、矢張り此產繭ノ結果カラ見マシテ、屑物ヲ少クナラシムルヤウニ實ハ指導シテ居ル、從テ原蠶種ノ管理モ是ノ品種ガ非常ニ改善サレテ參リマスレバ、同功絹、即チ玉繭ト云フモノハ少クナツテ參リ、屑繭モ少クナツテ參ルト云フ風ニ考ヘテ居ル、出來ルダケ良イ條件ニ依ツテ生絲ナリ繭ノ生産費ヲ低下シテ行ク、併シ必シモ屑物ハ出來ナイトモ限ラヌカラ、出來レバ化學的ナリ物理的ナリノ方法ニ依ツテ、之ヲ處理シテ行キタイト思ヒマス

○阿部房次郎君 只今ノ御説明デ今ノ點ハヨク諒承イタシマシタ、尙ホ政府委員ノ方ニ御尋ネシタイコトガゴザイマスガ……

○委員長(侯爵大隈信常君) 大臣ニ御尋ネノ方ガアリマスレバ先ニ御尋ヲ願ヒマス

○武井覺太郎君 私ハ現代ノ狀態ヨリ推シ

マスレバ、モウ生産方面ハ相當ニ今日マデ
進歩發展シテ居リマスルガ、販賣方面ガ誠
ニ成ツテ居ラナイ、ドウシテモ此相場ノ安定
ヲシテ、宣傳開拓ニ努メナケレバナラナイ、
今日ノ此六百圓ガラミノ値段ナラ決シテ高
イコトハナイ、結構人造絹絲ニ對抗シテ十
分行ケルト思フテ居リマス、現在ニ於キマシ
テ日本ノ人絹ト、日本ノ現在ノ生絲トシマ
シテモ、生絲ガ五百五十圓トナリマスレ
バ、日本ノ人絹ノ……兎ニ角亞米利加ノ半
分以内デゴザイマス、其人絹ニ對抗シテモ
出來ルヤウナ話デゴザイマスカラ、亞米利
加ノ倍ノ相場ノモノト對抗スルノデスカ
ラ、此六百圓乃至七百圓位ノ間ニアリサヘ
スレバ、結構對抗シテ賣ッテ行クコトハ容
易ナコトデアラウト思ヒマスルガ、一向ニ販
路ノ宣傳開拓ト云フヤウナコトニ、更ニ今
日マデ無爲無策デ居ッテ、常ニ變動ガ激シ
イカラシテ、自然需要ガ減ッテ來ル譯デア
リマス、今日ハモウ實際我が蠶絲業ハ、全力
ヲ此販賣方面ニ注ガナケレバナラナイノ
デ、既ニ昨年モ日本カラ生絲ノ宣傳使ガ行
クト云フコトデ、八月九日ニ今井氏一行ガ
桑港ニ上陸サレマシタガ、一行ガ紐育――
ヘ參リマシタ當時、既ニ日本カラシテ宣傳

使ガ來ルト云フコトデ、ソレニ對抗スベク

人絹業者ハ「ペンシルヴァニア・ホテル」デ
大々的ニ「ホテル」ノ屋上全部ヲ借受ケマシ
テ、人絹ノ織物ヲ陳列シ、尙ホ佛蘭西カラ
シテ圖案師ヤ關係ノ技師ヲ聘シテ、大々的
ニ宣傳シタヤウナ譯デアッテ、常ニ人絹ノ
方ハ宣傳開拓ニ怠ラナイ狀態ニ相成ッテ居
ル、既ニ私ガ昭和二年ニ參リマシタ時ニ
ハ、男子ノ洋服ノ裏地ナドハ全部「アルバ
カ」デゴザイマシタガ、一昨年カラ昨年ヘカ
ケマシハテ殆ド人絹バカリニナッテ居ルヤ
ウナ狀態ニアリマスルカラ、斯様ニ常ニ人
絹ノ方ハ新規ノ用途ヲ開拓シテ參リマシ
テ、從テ千九百二十六年ニハ人絹ト生絲ノ
消費量ト云フモノハ殆ド同一デアッタモノ
ガ、今日ハ三倍デゴザイマス、既ニ昨年ハ
前年カラ見マシテ三割ノ消費ガ増加シテ居
ル、其三倍ノモノガ三割増加シテ居ル狀態
ニアルノデアリマス、所デ生絲ノ方ハ昨年
ハ三割減ッテ居ル次第デ、是ハ何ノ爲デア
ルカト云フト、常ニ相場ノ變動ニ惱マサレ
テ、ソレガ爲ニ買手が脅威ヲ感ジテ買ハナ
イヤウニナツタ結果デゴザイマスカラ、ドウ
シテモ根本ハ絲價ノ安定ニ全力ヲ注イデ、
宣傳廣告ヲモウ、人絹ニ劣ラナイヤウニ
ヤッテ出ルヨリ外ニ途ハナイ、サウシマス

レバモウ、私ハ人絹ノ方ヲ一割取返ヘシテ

モ、三倍ノモノデアリマスカラ、十五萬俵
位ハ聊カナモノデゴザイマスカラ、新市場
ヲ開拓スルコトモ必要デアリマセウガ、先
以テ米國ニ十分ニ宣傳機關ヲ置イデ、相當
ニ金ヲ掛ケルノデナケレバ、現在ノ百萬圓
位デハ、米國ノ弗ニ計算シマスレバ三十萬
弗デゴザイマスカラ、三十萬弗位ノ金デハ
誠ニ些々タルモノデ、米國ノ廣告料ト云フ
モノハ實ニ高イモノデ、一日ノ一頁ノ新聞
ノ廣告料ガ四五千弗ハ掛カルノデゴザイマ
スカラ、連モ三十萬弗ヤソコラデハドウシ
ヤウモナイ、少クモ百萬弗位ハ掛ケナケレ
バナラス、日本ノ金ニシテ三百萬圓位ハ、
少クトモ年々掛ケテ行クコトデナケレバモ
ウ、私ハイケナイト思ッテ居ルノデゴザイマ
ス、此邊ニ付テドウカ一ツ、當業者ヲ御獎
勵下サツテ相場ヲ安定シ、サウシテ其宣傳開
拓ヲ十分ニスルヤウナ方針ニ全力ヲ注ガレ
ムコトヲ希望シマスガ、之ニ對スル大臣
ノ思召ノ所デモ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○國務大臣(後藤文夫君)

先程申シマシタ
生産費ノ低下、從テ安イ生絲ノ價格ニ蠶絲
業ガ堪ヘ得ル狀態ヲ準備スルト云フコト
ガ、一面非常ナ重要ナ問題ニナッテ居リマ
ス、又他ノ反面ニ於キマシテ、殊ニ當面ノ

問題ニモ直ニ繋ガツテ居リマス問題トシテ

ハ、御話ノ絲價ノ安定、大需要地ニ於ケル
販路ノ維持、或ハ擴張ト云フコトノ爲メノ
宣傳、是ガ非常ニ重要ナ問題デアルコト全
ク御同感ニ存ジマス、デ是等ノ點ニ付キマシ
テモ、殊ニ絲價ノ安定ト云フコトハ、多年米
國方面ノ機屋等ノ熱望スル所デアルト云フ
コトデ論ジラレテハ居リマシタケレドモ、
矢張り近年ニ至ッテ我國ニ於テモ痛切ニ之
ガ感ゼラレルヤウニナツタト考ヘラレマシ
テ、折角販賣統制ノ調査會等ヲ開キマシテ
審議ヲ致ス際ニ、矢張り此問題ガ中心問題
ト相成ッテ居リマス、漸次マアサウ云フコト
ノ實現イタシマスヤウニ進メタイ爲ニ、今
回提案イタサウトシテ居リマスルモノハ、
唯徹底的ニ絲價ノ安定ト云フコトニ迄參リ
マセヌケレドモ、實行シ得ルコトカラ實行
イタシテ參ラウ、續イテ其問題ニ付テハ、
尙ホ今後モ考究ヲ續ケテ行キタイ、斯ウ云
フ風ナ考デ居リマス、デ政府ニ於キマシテ
モ、只今ノ販路ノ維持開拓、其手段トシテ
ノ宣傳ト云フ問題ノ必要ハ、十分ニ痛感ヲ
致シテ居リマス、今年ハ當業者ノ側カラモ
政府ノ助成ヲ求メテ參ッテ居リマシテ、農林
當局ニ於テモ相當ナ努力ヲ致シテ見マシタ
ガ、何分ニモ今日ノ財政ノ狀況ニ於キマシ

テ、蠶絲業ニ對スル當面ノ對策トシテ、矢張り政府ガ力ヲ入レル事柄ノ性質カラ申シマス、是ハ外ノ方ヘハドウシテモヤラセム譯ニ行カナイヤウナ事柄デ、繭ノ助成金デアリマスルカ、其他ノ費用ガアリマヤウナ關係カラ、遂ニ宣傳費ノ助成ト云フコト迄ハ手廻リ兼ネタヤウナ譯デアリマシテ、併シ此事柄ノ必要ハ、我々ハ十分認メテ居ルモノデゴザイマス

○武井覺太郎君 實際ニ於キマシテ當業者トシマシテモ、是ガ五百圓ノ時デモ仕入ラシ、千圓ニ賣レル時デモ仕入ラシマスノデゴザイマスルカラ、總額三億、五億ノ上カラ當業者自ラ宣傳開拓スル位ナコトハ、モウ聊カノコトデ格別苦ニハナラナイ、既ニ全國ノ過半數ヲ占メテ居リマスル長野縣ノ製絲業者等ハ、ドウカ自治的ニ組合デモ作ッテ、一俵幾ラツツカ徴收ラシテ、ソレヲ以テ宣傳開拓ヤ、備荒貯蓄ニ當テテ、絲價ノ安定ヲ圖ラウデヤナイカト云フヤウナコトヲ、昭和五年以來決議シマシテ、中央ヘ持出シマスルケレドモ、其度毎ニ握潰サレルトカ、或ハ中央デモ遂ニ不得要領ニ終ッテシマフト云フヤウナコトガ、是迄屢、アッタノデゴザイマスルガ、是ニハドウシテモ間接ニ輸出商ガ邪魔ラシテ居ル實際ニ於

テ……デ現在ノ狀態ハ横濱ガ昨日モ御話シマシタケレドモ、生産地ノ横濱カラ見テハ、紐育ノ需要地ノ方ガ何時モ相場ガ安イノデゴザイマスルカラシテ、輸出商ハ相場ノ綾デ利益ヲ占メナケレバ外ニ取ル所ハアリマセヌカラ、成ルタケ現狀ノヤウナ製絲者ヲ無力ナモノトシテ、相場ノ綾デウマク其間ニ利益ヲ占メヤウトシテ居ル爲ニ、何分ニモ是ガ纏ラナイノデゴザイマス、故ニドウカ政府デ一ツ此處ハ何トカ助成ラシテ下サルトカ、何レニカシテ此製絲業者ノ團結ラシテ、自治的ニヤレル方法ヲ講ジラレムコトヲ切望スル譯デゴザイマス

○委員長(侯爵大隈信常君) 外ニ大臣ニ御質問ハゴザイマセヌカ、ソレデハモウ大臣ニ對シテハ御質問ナイト認メマス

○阿部房治郎君 此原蠶種ノ國家管理統制ト云フコトデ、誠ニ私贊成ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、併シ又統制ト云フモノガ一面ニ利益ガアリマス同時ニ、半面ニ非常ニ弊害ガアルノデアリマス、從來ノ色ミノ政府ノオヤリニナリマシタ統制ノ上カラ見マシテモ、ドウモ其邊ガ行違ヒガアルノデアリマス、デ此原蠶種ノ如キモノモ國家デ十分ナ研究ラシテ、良イ蠶種ヲ全國一體ニオ出シニナルト云フコトハ、必ズ良

イノニ違ヒアリマセヌケレドモ、從來ノ點カラ見マスレバ各蠶種ハ或ハ製絲家ナリ蠶種家ナリガ競争ラシテ良イ種ヲ造ラウ、良イ原蠶種ヲ造ラウト云フコトニ隨分研究シテ居ルト思フノデアリマス、所ガ國家ノ統制トカ管理ニナリマス、サウ云フ所謂競争シテ改良シヤウト云フコトガ止マルノデアリマス、ソコニ餘程考ヘナイト云フト、統制其モノニ餘程ノ弊害ガ附イテ居ルノデアリマスルガ、其點ニ付キマシテ私ハ蠶種ノコトハ一向素人デアリマスケレドモ、ドウ云フ御考デゴザイマセウカ

○政府委員(井野碩哉君) 原原種ノ製造ヲ國家ガ管理イタシマシテ、ソレニ基ク原種ノ製造ヲ府縣若クハ自家用原蠶種製造業者

ニノミ許可スルコトニ依リマシテ、從來民間デ行ハレテ居リマシタル所ノ原原種ナリ原種ノ自由製造ニ因ル改良發達ガ阻止セラレヤセヌカト云フコトハ、是ハ誠ニ御尤ノ御質問デゴザイマシテ、此法案ヲ昨年種々畫策イタシマシタ際モ、能ク之ニ對スル反對論ガソコニアッタノデゴザイマス、併シ我々ノ見テ居リマスル所ニ依リマスルト、近年ニ於ケル國家ニ於キマスル蠶種製造ノ研究試驗ト云フモノハ非常ニ進歩シテ參リマシテ、今日ニ於テハ蠶系ノ品種ト云フモ

ノハ、民間製造品種ト云フモノヨリモ優良ノモノガ各業者ニ配付セラレテ居リマシテ、從テ民間ノ蠶系蠶種ニ對シマス蠶種ノ要望ト云フモノハ、年々増加ラシテ居ルヤウナ譯デ、今日國モ優良蠶種ヲ六萬蛾程作ッテ配付シテ居リマスガ、是デハ迎モ應ジ切レナイヤウナ事情ニアルノデアリマス、併シ御説ノ如ク國ガ一ツノ管理事業ヲ行ヒマスルト、免角自由營業デアリマシタ時ヨリハ總テノ點ニ於テ獨占の弊ト申シマスカ、ト云フコトカラ生ズル退歩ト云フコトモアリ得ルコトハ考ヘテ居リマスガ故ニ、民間ニ於キマスル其從來有ッテ居リマス優良品種ニ付キマシテハ、勿論國ニ於テ蠶品種審査會ニ於テ適當ト認メマシタモノハ、之ヲ買上ゲテ國ノ蠶種ニ取入レマシタ、又今後モ相當ニ民間ニハ、試驗研究ノ範圍ニ於テソレ等ノ點ヲ自由ニ許シテ置キマシテ、サウシテ良イモノガ出來マスレバ、今申上ゲマシタ蠶品種審査會ニ掛ケマシテ、之ヲ買上ゲテ行クト云フ方法ニ依ッテ、適當ナル民間ノ試驗研究ヲ助長シテ行ク積リデゴザイマスケレドモ、併シ御説ノ如キ弊害ノ全然ナイトハ私共ハ決シテ認メテ居リマセヌガ故ニ、國ニ於キマシテハ矢張り今後モ益、蠶品種ノ改良ト云フ點ニ付キマスル施設ヲ

擴充イタシマシテ、其點モサウ云フ虞レノ
ナイヤウニ努メテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居
ル次第デゴザイマス

○阿部房次郎君 能ク分リマシタ、ドウゾ
只今ノ點ハ吳ミモ御注意ヲ御願ヒシタイ、
ソレカラモウ一ツハ原原種ノ國家管理ハ色ミ

問題ガアルラシイノデゴザイマスケレド
モ、第一ハ品種ノ改良ト云フコトガ餘程重
要ナコトデナイカト思フノデスガ、私ハ一
向詳シイコトハ素人デ承知シマセヌガ、帝
國ノ検査所ガ、横濱ナリ神戸デ生絲ノ検査
ヲ爲サレテ、又米國ヘ参リマスレバ紐育ニ

相當完全ナ検査所ガアリマス、私ハ拜見イ
タシタコトデアリマスガ、ソレカラ其絲ガ
アチラノ大キナ織屋ニ参リマスルト、織屋
デ又検査ヲ致シテ居リマス、サウシテ絲ノ
斑ガ無イカドウカ、不同ガ無イカドウカト

云フコトヲ検査シテ居ル、ソレカラ又ソレ
ヲ織物ニ織上ゲテ行ク、ソレヲ染色シ、加
工シテサウシテ染斑ガ無イカドウカ、其絲
斑ガ無イカドウカト云フコトヲ、非常ナ手
數ナ検査ヲシテ居ルヤウニ、私見マシタノ
デハ承知イタシテ居ルノデアリマス、サウ
シマスルト帝國デ検査ヲ致シタモノガ向フ
デハドウモ一ツモ信用サレナイ、又横濱ナ
リ神戸デ検査ヲシテオイデニナリマシテモ、

使フ先ニ於テ、ドウ云フ風ニソコニ缺點ガ

アツテ困ツテ居ルノデアルカ、ドウ云フ風ノ
ソコニ要求ガアルカト云フコトヲ御調ベニ
ナツテ居ルコトト思ヒマスケレドモ、絲質ヲ
徹底的ニ改良進歩サス上ニ於キマシテハ、

先ノ都合、先ノ都合ト申シマシテモ大キナ
生絲ノ織物製造業者デスガ、サウ云フ所ノ
要求スル所ヲ十分ニ知ツテ、サウシテコナ
ノ方デ色ミ御指導シナイト、唯帝國ノ製造
検査範圍ダケデ大體オヤリニナツテ居ツテモ、
ドウモソレガモウ一ツ徹底シナイヤウニ考
ヘルノデスガ、此點ハ如何デスカ

○政府委員(井野碩哉君) 日本ノ輸出生絲
ノ亞米利加ニ於キマスル検査ノコトニ付キ
マシテハ、今御話ノヤウナ點ガ種々ゴザイ
マシテ、大體私共ノ理想トシテ居リマスル
所ハ、横濱、神戸ノ生絲検査所ニ於キマシ
テ検査イタシマシタ其成績ガ、直ニ向フノ

織物業者ガ之ニ依ツテ賣買取引ヲシテ呉レ
ルト云フコトガ最モ理想デアリ、先般米國
ト日本トノ專門家ガ寄リマシテ此検査標準
ヲ定メマシタノモ、ソコニ趣旨ガアツタノ
デゴザイマスルガ、今日亞米利加ニ於キマ
スル商慣習ハ直ニソコ迄改善ヲ加ヘテ行
ク譯ニ参リマセヌノデ、御話ノ通り
買手ガ一切支配スルト云フ商慣習ガ

ナカノ拔ケナイノデアリマス、從テ亞

米利加ニアリマスル検査所モ從來ハ相當ニ
活用シテ居ッタノデアリマスルガ、今日
デハ亞米利加ノ検査所モ殆ド活用ヲシナイ
ヤウナ譯デ、主トシテ織物業者ナリ絹靴下

業者ノ自ラ持ツテ居リマスル検査所ニ於キ
マシテ検査ヲ致シマシテ、サウシテ其品物
ニ付テノ價值判斷ヲシテ行ク、ソコニ又先
程來色ミ御質問ガゴザイマシタヤウニ、此
方ノ考ヘテ居リマスルコトト、向フノ見マ
ス所ハ違ヒマス爲ニ、ソコニ種々苦情ガ起ッ

テ來ルト云フヤウナ實情ニアルノデゴザイ
マシテ、此苦情ノ出テ参リマスル原因ニ付
キマシテハ、私共ノ方ハ紐育ニ昨年ノ春カ
ラ出張所ヲ設ケマシテ、那邊ニ苦情ガアリ、
又今後ノ日本ノ輸出生絲検査ニ付キマシテ

ハ、ドウ云フ點ヲ改良シテ行カナケレバナ
ラヌカト云フコトニ付キマシテハ、種々ノ
調査モシテ居リマスルシ、又此問題モ相當
ニ重大ナ問題デゴザイマスルカラ、本年モ
特ニ生絲検査所ノ技師ヲ派遣イタシマシ
テ、サウシテ亞米利加ノ機業者ガ日本ノ生
絲ノ検査ニ付テドウ云フ點ヲ要望シテ居ル
カト云フコトニ付テハ調べテ居リマス、併
シ大體ガ此日本ノ輸出生絲検査ト云フモノ
ハ向フノ當業者ト、コナラノ當業者トガ寄

リマシテ十分協議シテ出來タ検査方法デゴ

ザイマスカラ、此検査方法自體ニ苦情ガア
ル譯デゴザイマセヌガ、唯直接日本ノ輸出
業者ガ、自ラノ検査ニ依ツテ向フニ違ッタモ
ノヲ持ツテ行ク、ソレガ偶、向フノ買手ノ檢

査ト合ハナイ爲ニ苦情ガ起ツテ來ルノデア
リマス、併シソレモ矢張り種々ノ、此方ノ
考ヘテ居リマスルコトト違ッタ苦情モ近來ハ
出テ來テ居ルヤウナ事情デ、ソレ等ハ横濱
生絲検査所ノ検査ニモ織込シテ行キタイト
斯ウ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○阿部房次郎君 只今ノ御説明デ能ク分リ
マシテゴザイマス、亞米利加デ検査シテ居
リマスノハ是ハ大分大仕掛デアリマスケ
レドモ、政府ガ隨分專權ヲ以テ、サウシテ
亞米利加ノ品位ヲ規定スル上ニ於キマシテ

ハ、世界各國ヲシテ信用サシ得ルヤウナ方
法ニ於テ其検査ヲ致シテ居リマスルガ、生
絲ハ多少其趣キハ違ヒマセウケレドモ、併
シ折角斯ウ云フ法案ヲ御出シニナル以上
ハ、モウ一ツソレヲ徹底サスヤウニ願ヒマ
ス
○大西虎之介君 此表ニ付キマシテ一二簡
單ニ御伺ヒ致シタイノデスガ、此原蠶種ノ
製造ニ付キマシテハ、第九條第一項ノ許可
ヲ受ケタル蠶種製造者ニ對シマスルモノ

ハ、取締規定第十六條並ニ第十七條ニ書カレテ居リマスルガ、此府縣ニ對スル監督ニ付キマシテハ何等ノ御規定ガゴザイマセヌノデ、從來モ此原蠶種以外ノモノニ付キマシテモ、國デヤツテ居ラレノハ相當皆宜イ成績ヲ御舉ゲニナツテ居ルヤウデスガ、府縣ノヤツテ居リマスモノハ中ニ甚ダ、好イ成績ノ舉ツテ居ルモノモゴザイマスルガ、多クノモノハ餘リ成績ノ舉ツテ居ナイノガ例ニナツテ居ルヤウデスガ、又各府縣別ニ見マシテモ、或ハ長野デゴザイマスとか、群馬とか福島ノヤウナ養蠶ヲヤツテ居ル者ガ非常ニ多イ縣ニ於キマシテハ、其處ニ行ツテ居リマス知事其他ノ者モ非常ニ之ニ關心ヲ拂ツテ居リマスルシ、又豫算ヲ相當取リマシテ技術者等モ相當立派ナ人ヲ雇ツテ居リマスカラ、相當成績ノ舉ガルモノト考ヘマシガ、其他ノ府縣ニ於キマシテハ特ニ養蠶ニ關心ヲ有ツタ知事ガ居リマス場合ニハ宜シウゴザイマスガ、サウデアリマセヌ場合ニハ豫算等モ僅カシカ取ラヌ傾向モアリマシガ、餘リ立派ナモノガ行ハレナイカと思ヒマス、之ニ關シマシテ、當局ノ方ハドウ云フ考ヲ有ツテ居ラレマスカ

○政府委員(井野碩哉君) 府縣ニ對シマスル蠶種製造ノ取締ニ付キマシテハ、大體今

日ニ於キマシテモ、主務大臣ガ縣知事ニ對スル監督權ニ依ツテ大體ヤツテ居リマスガ、併シ今同モ特ニサウ云フ點モ考慮イタシマシテ、蠶絲業法第十一條ノ二ヲ改正イタシマシテ、附則ガアリマスガ、蠶種業法十一條ニ左ノ一項ヲ加フト云フ規定ガゴザイマス「府縣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ自己ノ製造スル蠶種ニ關シ検査ヲ行フベシ」ト云フ規定ヲ設ケマシテ、丁度民間ノ自治検査ト同ジヤウナ精神ヲ、府縣モ之ニ依ツテ行ツテ行クガ、其細カイ點ハ其命令ニ依ツテ規定スル積リデアリマスカラ、御趣旨ノ點ハ之ニ依ツテ十分貫徹シ得ルモノト考ヘテ居リマス

○大西虎之介君 ソレカラモウ一ツ、

此第二十一條ノ第二項ノ規定ニ「前項ノ蠶種又ハ蠶兒犯人以外ノ者ニ屬スルトキハ行政官廳ノ處分ヲ以テ之ヲ沒取スルコトヲ得」ト規定サレテ居ルヤウデゴザイマスガ、之ニ關聯イタシマシテ第十八條ノ罰則規定ヲオ置キニナリマシタ、ソレニ或ハ第八條ノヤウナモノハ常識ヲ以テ簡單ニ識別スルコトガ出來マスケレドモ、第十條デアリマスとか、或ハ第十一條ノ規定ニ至リマスとか、ナカナカ容易ニ其當否ヲ識別スルコトハ出來ナイノデナイカと思ヒマス

ガ、之ニ對シマスル取締ノ責任ハ當然行政官廳ニアル譯デゴザイマスガ、若シ取締ガ不十分デアツテ此犯罪ヲ犯シテ作テ居リマスモノヲ知ラナイデ、養蠶業者アタリガ購入イタシテ使ツテ居リマス中ニ沒取サレルト云フコトニナリマス、第三者ノ權利ヲ侵害スルト云フヤウナ形ガ出ルヤウナ虞ガアルヤウニ思ハレマスガ、其點ハ如何デゴザイマスカ

○政府委員(井野碩哉君) 蠶絲製造ニ對シ

マスル取締ニ付キマシテハ、從來モ相當ニ蠶絲業法ニ嚴重ナル規定ガゴザイマシテ、各府縣ハ約千名餘ノ取締員ヲ置キマシテ、蠶業取締所ト云フ所デ其検査ヲヤツテ居リマス、ソレニハ母蛾又ハ繭ノ検査ヲ行ヒマシテ、其結果ニ依ツテ只今御話ノ十條ナリ十一條ノ取締ハ十分付キ得ルモノト考ヘテ居リマスガ、今後ハ此自家用原蠶種製造ノ取締ニ付キマシテハ、是ハ許可ニ依リマシテ、國家ガ或一定ノ限ラレタモノニ許シテ參リマスカラ、其方面ニ於ケル所ノ取締モ十分嚴重ニ出來ルト斯ウ考ヘテ居リマスガ故ニ、此取締ニ依リマシテ、其母蛾ナリ繭ニ付テノ検査ヲ嚴重ニサヘ行ツテ參リマスレバ、今申シマシタヤウナ違反ノ種ガ養蠶家ニ渡ツテ行クト云フコトハ萬々ナカラウ

ト思ヒマス、若シモ假ニサウ云フモノガ渡ツテ參リマス致シマス、サウ云フ品種ガ國ノ中ニ行ハレルコトニナリマス、原蠶種管理ノ趣旨ガ沒却サレマスカラ、是ハ誰ガ持ツテ居リマシテモ沒取シナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウナ意味ニ考ヘテ居リマスカラ、養蠶家ノ非常ニ損害ガ之ニ依ツテ生ズルトハ認メテ居リマセヌノデアリマス

○大西虎之介君 只今ノヤウナ萬遺漏ナイ

御取締ノ方法ガアルニ拘ラズ、萬一ソレガ今ノヤウナ養蠶家ノ手ニ渡リマシテ、ソレガ後カラ發見サレマシタ場合ニハ、養蠶家ハ蠶種買入ノ資金ヲ拂ツテ居リマス、又養蠶ヲヤル間ニ相當ナ生産費ヲ掛ケテ居ル譯デアリマスカラ、之ヲ單ニ沒取サレルト云フコトニナリマス、何等ノ不知ノ者ガ不測ノ損害ヲ被ルト云フ形ガ出ルヤウニ考ヘルノデアリマスガ、如何デセウカ

○政府委員(井野碩哉君) 養蠶家ト致シマ

シテハ全ク知ラズニサウ云フモノヲ蠶種業者カラ買ツタ致シマスレバ、蠶種業者ニ對シマシテ損害賠償ノ請求ガ出來ルト思ヒマス、蠶種業者ガ危險ヲ負擔スルノデアリマシテ、養蠶家ハソレニ依ツテ負擔ヲシナイ形式ニナリマス、損害賠償ガ取レマセヌケレバ別デゴザイマスガ、實際ノ損害ヲ負擔

シマスモノハ蠶種製造業者、サウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○委員長(侯爵大隈信常君) チョット速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○委員長(侯爵大隈信常君) 今日ハ之ヲ以テ散會イタシマス

午後零時二十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 侯爵大隈 信常君

副委員長 子爵片桐 貞央君

委員

伯爵黒木 三次君

子爵大岡 忠綱君

男爵足立 豊君

男爵肝付 兼英君

男爵岩村 一木君

阿部房次郎君

宇野 勇作君

長野 忠次君

大西虎之介君

武井覺太郎君

國務大臣

農林大臣 後藤 文夫君

政府委員

農林政務次官 子爵織田 信恒君

農林省蠶絲局長 井野 碩哉君

昭和九年三月十二日印刷

昭和九年三月十三日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局